



写真:カッコウ (撮影:平成26年5月4日、提供:霧島ジオパーク推進連絡協議会)

「カッコウ」

カッコウは、初夏に繁殖のため霧島連山に渡ってくる夏鳥です。

えびの高原では、ミヤマキリシマの花が咲きはじめてました。ミヤマキリシマは、5月下旬に、硫黄山周辺で見ごろを迎えます。山肌を徐々に咲き登り、韓国岳山頂では、6月中旬まで見ることが出来ます。

例年、5月上旬、霧島山にカッコウがやってきます。霧の向こうから「カッコウ、カッコウ」というよくとおる声が聞こえるようになると初夏の訪れを実感します。

カッコウは、ハトよりやや小さく、夏に繁殖のため日本に渡ってくる夏鳥です。ほかの種類の鳥の巣に卵を産み、育ててもらおう「托卵」をすることで知られています。

えびの高原では、カッコウよりずっと小さな体のホオジロに托卵をしている様子も確認されています。「カッコウ」と鳴くのはオスで、運が良ければ梢にとまって鳴いている姿を見ることが出来ます。

カッコウの仲間には、ホトトギスやツツドリがいます。えびの高原では、これらの鳥の鳴き声も聞くことができます。
 (文/えびのエコミュージアムセンター)

カッコウ
Cuculus canorus

カッコウ科カッコウ属